

# フォークサイコロジー問題と ピースミール知問題

唐沢かおり

東京大学人文社会系研究科

日本グループダイナミクス学会第59回大会ワークショップ「社会心理学に絡みつく「甘い誘惑」  
について考えるー科学哲学者との対話と討論」  
京都大学 2012年9月22日(話題提供資料抜粋)

# 誘惑と批判

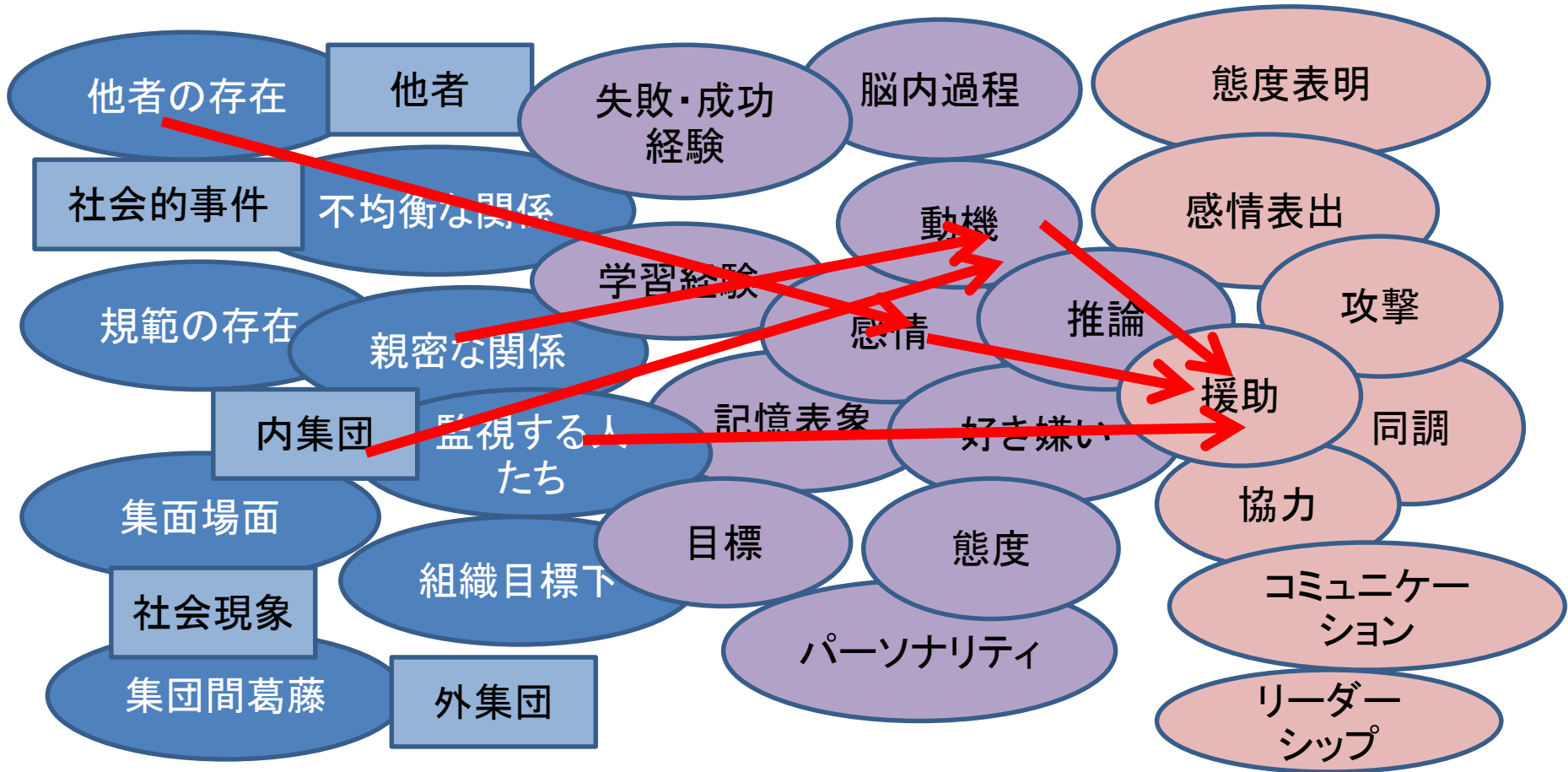
- 誘惑: フォークサイコロジーに由来する概念を構成概念として濫用する
- 批判: それはやめれ、介入操作による概念の「実体化」をせい
  
- 誘惑: ピースミール知でいいじゃん?
- 批判: あきません、測定ネットワークキングなるものをめざせ
  
- 社会心理学が行っている具体的な作業 = 変数間の関連付け
- その視点から、2つの誘惑・批判問題を考える

# 変数間の関係づけとしての社会心理学

社会的状況・刺激

内的な過程

行動



# フォークな概念批判の対象のコアは。。。

社会的状況・刺激

内的な過程

行動

介入操作が困難なものたち  
しかし、これらなくして、社会  
心理学は成り立たない……

脳内過程

態度表明

感情表出

感情

攻撃

動機

推論

援助

同調

記憶表象

好き嫌い

協力

内集団

監視する人  
たち

目標

態度

集面場面

組織目標下

社会現象

パーソナリティ

コミュニケー  
ション

集団間葛藤

外集団

リーダー  
シップ

# 問題となっていること

- 内的な過程が実在しているという保証
  - 「〇〇動機」・「〇〇傾向」が本当に存在するのか
  - 存在論的議論は社会心理学の枠組みでは困難
- 「知見」として主張される変数間の関係が、もともとの変数の概念定義に由来する
  - 概念を定義する「文」にもともとみられる相関関係を把握しているにすぎない
  - トートロジカルであり、心的機能としてDVの生起を説明する役割を果たさない

# 問題となっていること

- 内外的  
操作から得られる結果が、当該  
の内的過程を想定することにより  
説明され得ることの積み重ね
- 「知見」として主張される変数間の関係が、もとも  
との変数  
実際には、微妙なケースが多い  
これを排除する形式的な手続き  
を持たない  
関係を  
を説  
明

# フォークサイコロジー問題

- フォークサイコロジー由来の概念のみならず、仮説も危ない(ことがある)
- 回避方法は？
- すでに社会心理学が持っているやり方として...
- 断片的な変数間の関係を系統的に収集し体系化、その背後にある概念構造に言及することにより、FP的知見の集合を「理論」に格上げする

# ピースミール知問題

断片知を「SEMネットワーク」により  
統合する

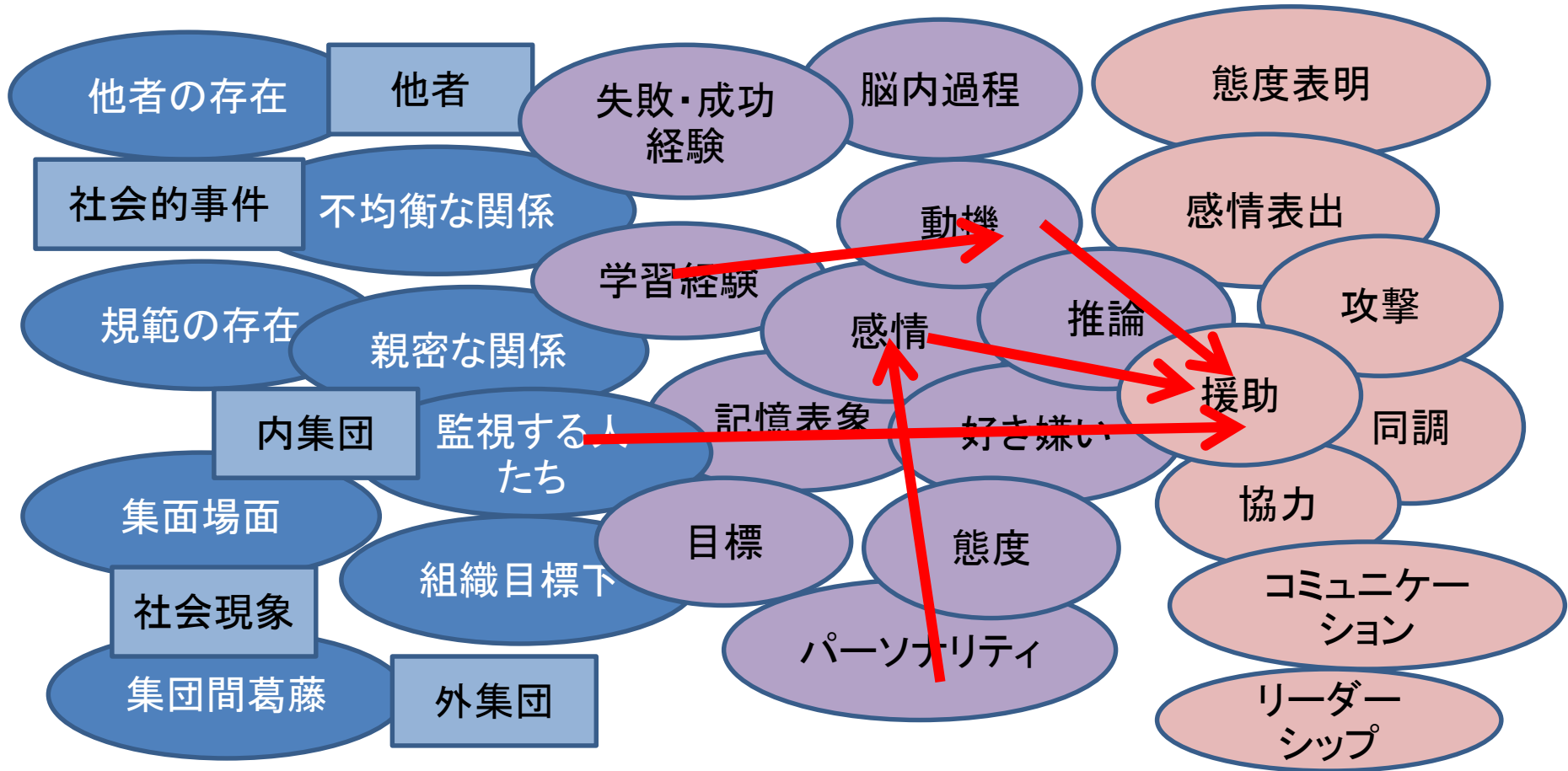


# ふつうのSEM

社会的状況・刺激

内的な過程

行動



# ふつうのSEM

社会的状況・刺激

内的な過程

行動

他者

社会的

規範

集

社会現象

集団間葛藤

外集団

複数のSEMのネットワークを構成する際、  
何でもかんでも・・・というわけではないだろう

社会心理学は、通常、ある「行動＝DV」を生  
み出す変数の関係を記述するためにSEMを  
用いる

パーソナリティ

攻撃

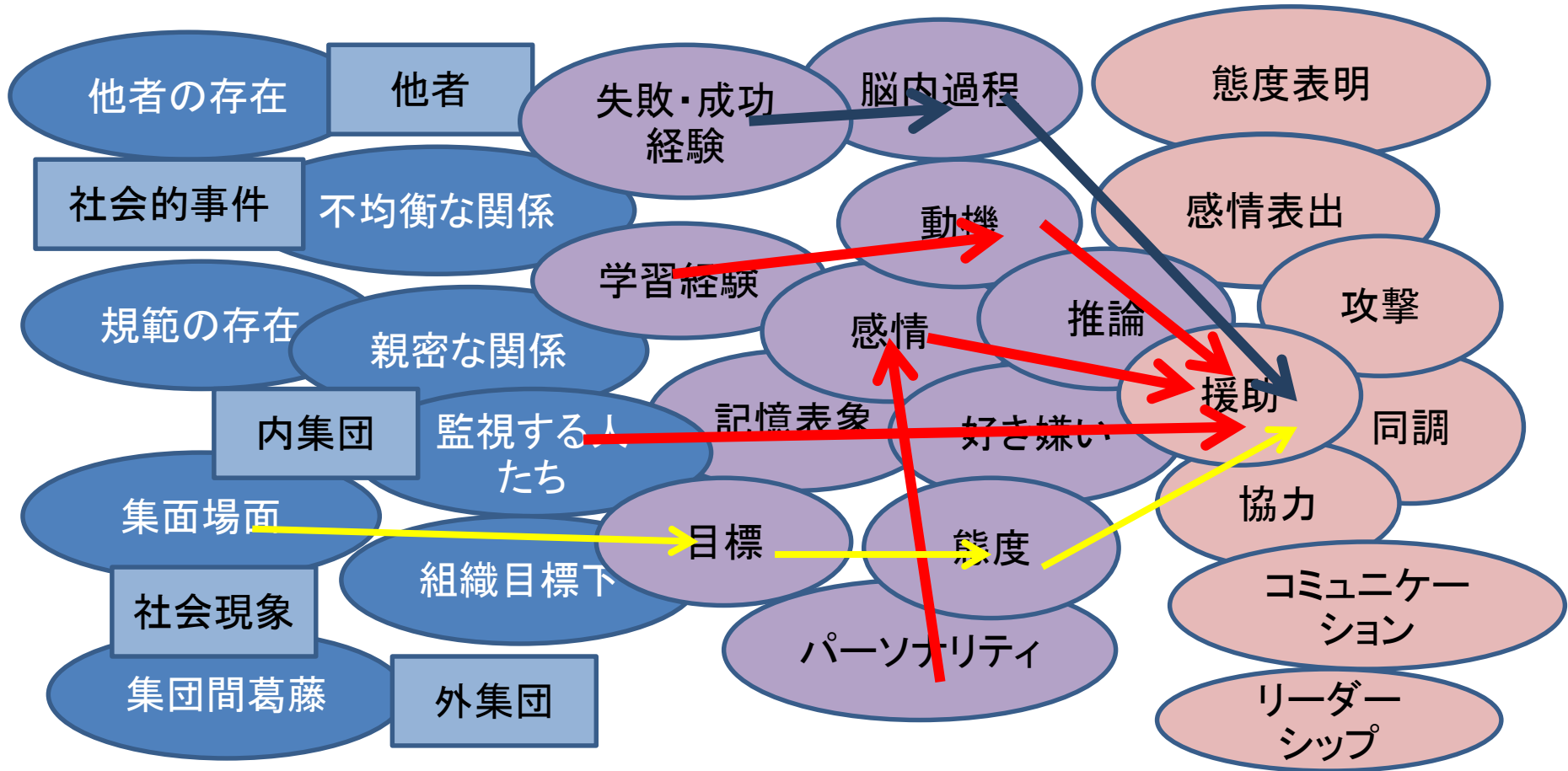
同調

ネットワーク  
シオン

リーダー  
シップ

# SEMNWイメージ

特定の従属変数をターゲットとしてSEMを構成



# (通常の)ピースミール化防止策

- 1. 論文の序論と考察
  - 当該のDVに寄与する変数を整理し、新たな変数の寄与を提案
  - 寄与する過程について別モデルを提案(⇒この中でしばしば新たな媒介変数が提案される)
  - 提案されているIVの効果を変化させる別変数の提案(調整変数)
- 2. いわゆる展望論文
  - これまでの研究で検討されてきた変数の系統的整理し変数の関係を示す基軸・モデルの提案
- 3. メタ分析論文
  - 変数の効果の程度について、複数の研究データを統合して検討

# SEMNWへの懐疑

- 異なる複数の測度が本当に「同じ変数」として統合可能か？
- 操作介入を含む実験データがSEMNWに統合できるのか？
- 数個の変数でもモデルフィットは難しいのに、NW化したらもっと大変なのでは？
- そこで得られる知見は、通常のピースミール防止策で得られることと変わらないのでは？

# ピースミール性の克服に向けて

- 社会心理学空間に存在する変数間のつながりを、より体系的・統合的に理解することを目指すという方略
- SEMNWが最適？
  - 具体的な実現の条件を検討する必要がある
- 「言葉」による議論を重ねる
  - DVでソートされがちな体系化を越えた軸の提案
  - 言葉による議論の「場」の構築